

建設関連ニュース

●来年度から全ての工事・業務の電子契約を原則化（防衛省）

8月20日、防衛省は、2022年度4月1日以降の公告案件より、地方防衛局等が発注する全ての建設工事・業務に対して、原則電子契約を実施すると発表した。電子契約には国交省が運用する電子契約システム（GECS）を利用するため、ICカード等の準備を進めるよう呼びかけている。

●2022年度予算の概算要求を発表（国交省）

8月26日、国土交通省は、2022年度予算の概算要求を発表した。一般会計の国費総額は前年度比17.6%増の6兆9,348億円となり、うち公共事業関係費は18.8%増の6兆2,491億円となった。

●2022年度道開発予算の概算要求を発表（北海道局）

8月26日、北海道局は、2022年度北海道開発予算の概算要求を発表した。一般公共事業費に当たる北海道開発事業費は、国費で前年度当初比21.1%増の6,780億円、事業費で21.5%増の8,444億円となった。

●9月末の道内建設業許可業者増加（開発局、道）

北海道開発局と北海道は、2021年9月末の道内建設業許可業者数をまとめた。知事・大臣許可の合計は1万9564者で、前月から12者増となった。内訳は大臣許可が160者、知事許可が1万9404者となっている。

●前払金保証約款を変更（北保証）

10月7日、北海道建設業信用保証㈱は、9月1日にデジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律が施行され、同日付で「公共工事の前払金保証事業に関する法律」の一部が改正されたことを受け、前払金保証約款を変更した。書面をもって行わなければならないとされている手続きについて、電磁的方法による手続きもできるよう一部条項を変更するとともに新たな特約条項を追加した。

●中建審で経審改正の方向性を審議（国交省）

10月15日、国土交通省は、東京都内で開いた中央建設業審議会の総会に経営事項審査の改正の方向性について審議事項として提示した。建設キャリアアップシステムを現場で導入する元請企業を評価することや災害等に使用する場合、加点対象となる建機の種類や環境認証制度を拡充すること等が示された。早ければ年内に次回会合を開催し、評点などを定めた改正案が提示される。

●2021年度保証事業重点推進方針上半期状況を公表（北保証）

10月15日、北海道建設業信用保証㈱は保証事業重点推進方針上半期状況を公表した。前金払制度では支払限度額を設定している27市町村に対して撤廃の働きかけを行い、9月末までに4市町で改善が進んだ。中間前金払制度では新たに3市町が導入となり、導入市町村は86市町村となった。

●下請取引適正化等の自主行動計画を改定（日建連）

10月22日、日本建設業連合会は、「下請取引適正化と適正な受注活動の徹底に向けた自主行動計画」を改定した。主な改定は、①手形等の割引料のコストに関する記述を追加、②手形期間は「120日以内で、できる限り短い期間で将来的には60日を目標」としていたものを「60日以内とするように努める」に修正、③発注者も含めて関係者全体で約束手形の利用廃止に向けて、前払金等の充実等の取組を進める重要性に留意との記述を追加した。

●「道内建設業（保証契約者）の財務比率」を公表（北保証）

11月5日、北海道建設業信用保証㈱は、2021年3月までの1年間の決算を対象に道内建設企業の財務数値を分類集計した「道内建設業（保証契約者）の財務比率」をとりまとめた。コロナ禍の影響が危惧されたものの、19年度と比べ数値の変動は少なく、財務比率11項目が過去5年間で最良値となった。

毎年、様々な場で、中間前金払制度の導入について説明をさせて頂いています。北海道ではなかなか制度の導入が広がらず2021年度末現在、全国88.0%の導入率に対して北海道は46.4%。24府県では100%導入されています。ここで一度この制度の経緯を振り返ってみます。中間前金払制度は、昭和47年の建設省通達により導入されました。工事資金の部分払を行うに際し、発注者の出来高検査を要しない仕組みとして、保証会社の保証を条件として2割以内の前払金を追加支出するものです。当時は、発注者による出来高検査の事務作業量が請負者に相当負担となっていたという背景がありました。この中間前金払制度の重要性が再度高まったのが平成11年です。バブル経済が破綻する中で、建設業の経営改善が政府の緊急経済対策の主要な柱になりました。このため平成11年に地方自治法施行令が改正され地方自治体に対する中間前金払制度が導入されます。保証会社では、こうした制度導入の趣旨から中間前金保証は保証料を低率とし、手続を極力簡素化させています。建設投資は、長期的には様々な波が生じ時代時代の変動が大きな投資です。制度導入に向け将来を展望する視点からのご検討を切に望むものです。

(H. S)